

職員による自己評価

A 児童への支援内容

子供たちの意見を活動に取り入れる事で意欲的に取り組めるように促している。

スタッフ間で意見交換し、個別、集団、それぞれの場面で有効な指導方法や関わり方を確認しながら活動が出来ている。

B 保護者への説明責任・信頼関係

活動の様子は連絡帳にて詳細に説明しており、保護者からは活動の様子が分かり易く書いてあると言っている。

活動の様子を保護者に見てもらう機会を年1回に発表会を開催しているが、年々お父さんの参加も増えており実際に活動の様子を見てもらって喜んでいただけていると感じる。

C その他

他のスタッフからいただいたアドバイスをノートにとり今後に生かすよう努めている。

担当する児童の指導方法を共有することにより、児童が落ち着いて活動出来るよう心掛けている。

保護者による評価

A 児童への支援内容

活動内容に色々な工夫があり、子どもの意見を尊重した内容になっていると思います。

普段の活動内容を発表する場面を作っただけは子どもにとって大きな励みになり、自信にも繋がっていると思います。

B 保護者への説明責任・信頼関係

いつも行く事を楽しみにしており、楽しい居場所があり活動出来る機会をいただいて、とても感謝している。

体育館で身体を動かせること、それだけではなく細かい所までよく見て支援してくださっているので大変満足している。

C その他

見学に行った時に、掃除係を頑張っているお子さんを見ました。プログラムもお子さんに合わせて変わっていくものだなと思いました。一人一人のお子さんに合わせて教えて下さり有難いです。

事業所内での分析

【共通点】

評価表の集計に基づき、子ども達の意見やリクエストを活動内容に反映することにより子供たちのモチベーションが上がり意欲的に活動に参加できるようになった。

連絡帳での内容はとても丁寧で分かり易い内容になっている。

支援内容が子供の成長や興味の移り変わりに対応出来ている。

【相違点】

事業所から帰宅する際の、連絡をすることを怠りいつ車が到着するか分からない。

外出などのプログラムがもう少し増えると嬉しい。

分析・検討してみても…

事業所の強み

従業員の入れ替えがほぼ無いので、子供が安心して信頼関係が構築されてきている。
子供同士の関係性も数年通所している子どもが多い為、良好な関係を保っており、子どもからの提案を事業所で会議し委員会の設置や活動内容にも子供の意見が反映出来ている。

事業所の改善点

送迎に関して、子どもを送る際に事業所からの連絡よりも早く家に到着してしまう事が多々あったので、自宅に連絡する際の順番を送迎ルートから組み立て直す事が必要だと感じる。
外出する活動においては、平日では時間的に難しいため保護者と話し合い長期休暇利用時に計画を立て寄り添った活動が出来るよう努力が必要と感じる。

事業所の改善への取り組み

子供の意見を活動内容に反映することにより、活動へのモチベーションを維持できるかを行っているが、意見言えない子供もいるため面談の際に保護者への聞き取り等で興味のある音楽や得意な事を活動内容に取り入れ様子を見る。
送迎時の連絡に関しては、送迎を行う者と連絡する者がミーティングで話し合いを行い連絡する順番の組み立てを行う。

～自己評価を行ったの事業所としての感想など～

子ども達の成長を感じながら、楽しく活動が出来ています。
子供たちも慣れてきて自我が出て来ている事を感じています、今までは質問しても無言だったり分からないと言っていた子供が自ら、やりたい事が言えたり友だちと関わり遊べるようになったことが嬉しいです。まだ課題はたくさんありますが、1つ1つ解決して前に進みより良い事業所作りを行っていきたいと思います。

事業所名 レインボースマイル

担当者 柳川 有